

名護グスク公園 なんぐすく

2021年9月号



利用者の皆様へ

来園するには新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

名護城公園の自然

秋のセミ



オオシマゼミ

ケーンケーンと響く鳴き声はセミと知っている人はほとんどいない。誰もか鳥と知っているからだ。観察会などで、実勢に鳴いているところに案内し、初めて理解してもらうほどだ。

オオシマゼミはツクツクボウシの仲間で、晩夏から秋にかけて発生する。鳴き始め、鳴き終わりを調べたことがある。6・7月散発的、8月下旬頃から複数、最も数が多くなるのは10月に入ってから、遅くは12月初旬まで。ところが年によっては正月に鳴き声を聴いたことがある。

名前の由来は奄美大島。分布は奄美、徳之島、請島、久米島、沖縄島（沖縄市以北）で中琉球の固有種。南限の沖縄市で発生個所の共通する点は、国頭マージの酸性土壌の地域で、散在する。

体長は51mmほどで、雄の腹弁が長く、先端部が黒い傾向にある。発生初期は樹木の高いところで鳴くため見つけにくい、最盛期の10月になると目の前の幹にも止まって鳴くことがある。ジジジー、ジジジーと鳴いてからケーンケーンと鳴くことが多い。



最盛期は目の高さ
に止まることもある



時々葉上にも止まる



ヒカンザクラ幹色と同調



抜け殻

クロイツクツク

ジーワジーワと聞こえることから、方言でクークーク（おいで、おいで）と呼ばれている。鳴き始めは8月中頃からでそろそろ夏休みも終わりに近づくころだ。

名前は沖縄の生物研究に功績のあった黒岩恒にちなむ。

鹿兒島の大隅半島から沖縄島にかけて分布、北・中琉球の固有種。体長45mmほどで、オオシマゼミより一回り小さい。鳴きは8月～11月まで聞こえ、最盛期は10月。

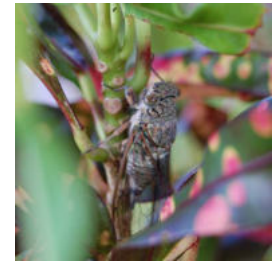
沖縄島中・南部は急激な都市化に伴いセミ類が減少している。顕著なのがクロイツクツクとクロイフニイフニで、特にクロイツクツクは数も減少し鳴き声の聞こえなくなった箇所が増えている。森林性のための発生地の消失、あるいは発生地の乾燥が原因と考えられるが、逆にクマゼミは増えているといわれている。



鳴いてないと見つけにくい



鳴いている♂



クロトンに止まる♀

イベント情報

樹木自然観察会



■日 時/9月11日(土)9:30～11:00

■場 所/名護城公園「せせらぎ広場」

■料 金/1000円 ■対象/大人10名

■講 師/比嘉正一(学芸員)

参加申込は 0980-52-7434

名護城公園ニュースレター なんぐすく 2021年9月号

名護城公園管理事務所 〒905-0012 沖縄県名護市名護5511

TEL(0980)52-7434 FAX(0980)52-7477 <https://nangukupark-osi.jp>

指定管理者 おきなわスポーツイノベーション協会 編集・発行:比嘉正一

